

<自主的努力項目記入書式>

提携先	静岡うなぎ漁業協同組合	記入日	2009/8/26
登録消費材名	うなぎ長焼き、うなぎ蒲焼カット、うなぎさっぱり焼き、きざみうなぎ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

一昨年度、昨年度とうなぎ稚魚の不漁や不漁による高値などの影響で満足はいく池入れが出来ず、生活クラブの皆様には1年の緊急対応として国内産うなぎのお取扱い、ご協力を頂きました。本当にありがとうございます。

今年度のうなぎ稚魚は豊漁に恵まれ十分な量が池入れされておりますのでご安心ください。また減り続けていた生産者もこの秋より休業中であった1名が追加されます。不況等の影響によりまだまだ稼働率が100%には戻っておりませんが、このご恩をお返しすべく来年度に向かって頑張っております。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・生産コストの低減

うなぎ稚魚の高値から始まり、不況による消費低迷が顕著に表れた1年でした。高いものが売れないこの時代ですが、生活クラブの組合員にはたくさん食べて頂きました。本当にありがとうございます。

結果的に生産コストの低減は出来ませんでした。いろいろな意味で学ぶ事の多かった1年でした。この1年で学んだことを今年度に活かして参ります。

- ・指定生産者を増やしたい

前項でも書かせて頂きましたがこの秋から休業中であった1名が指定生産者追加となります。

また他産地にも現在、話をかけ進めております。最終的にまだどうなるのか判りませんが、時間をかけ進めて参ります。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

今年度も昨年度に引き続き

- ・生産コストの低減
- ・指定生産者を増やしたい

という目標に向かって頑張っております。

うなぎ稚魚は100%が天然採捕によるものです。まだまだ完全養殖までは程遠く不漁年は必ずやってきます。生産者の池入れが進まなければ、水揚げされるうなぎも少なくなり、工場の稼働率も低下してしまうという悪循環に陥ってしまいます。静岡うなぎ漁業協同組合として生産者への支援を含め、継続して再生産出来る体制作りを行なって参ります。